

# 京都市

## 人権ゆかりの地

### マップ

千年の時を超えて都であり続けた京都は、様々な立場の人々がたくましく生き抜いた、人権文化の伝統が歴史の中に脈々と息づくまちです。

この地図では、そうした先人たちの足跡を振り返り、市内に数多く存在する名所・旧跡等の中から人権にゆかりのある地を幾つか紹介しています。今一度、人権について考え、「人権文化の息づくまち・京都」を共につくっていきましょう。

- 次のアドレス・QRコードにアクセスいただくと、一部の施設の動画を御覧いただけます。  
<http://www.facebook.com/jinkenbunka>
- 人権ゆかりの地へは公共交通機関を御利用ください。



#### 参考文献

「人権ゆかりの地をたずねて」Ⅰ, Ⅱ, Ⅲ, 京都市内編(京都人権啓発推進会議)  
「京都人権歴史紀行」(人文書院, 世界人権問題研究センター編, 監修 上田正昭)  
「講座・人権ゆかりの地をたずねて」(世界人権問題研究センター)

[同じです あなたのわたしの大切な]

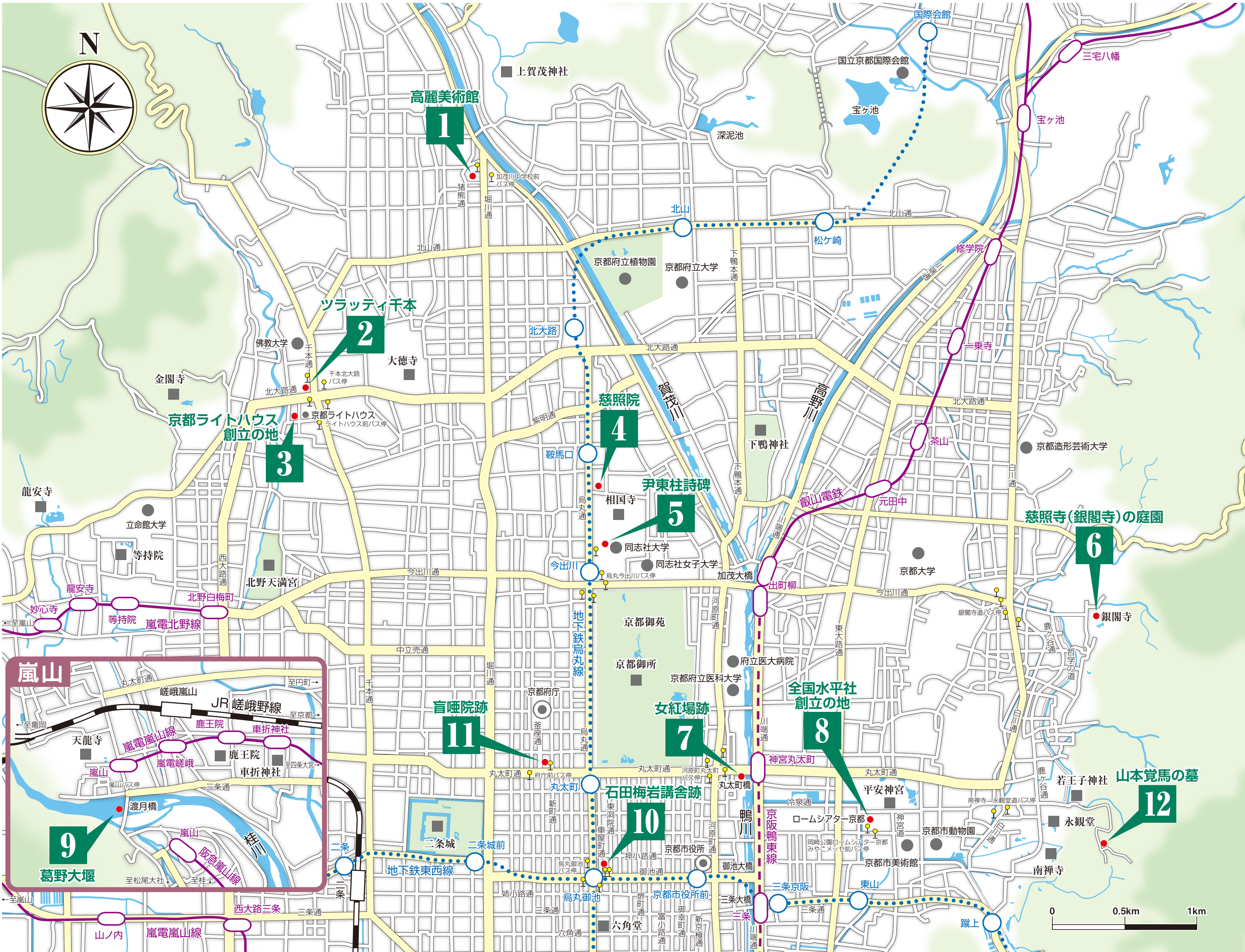
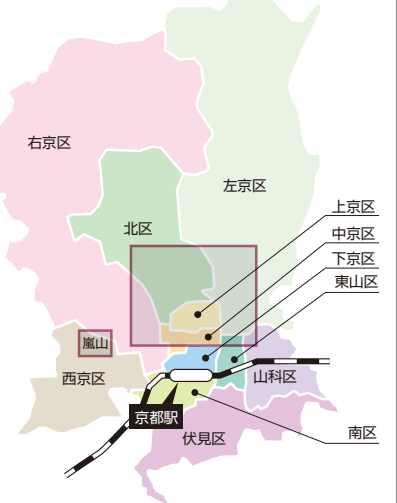
京都市印刷物第275465号  
発行:京都市文化市民局 くらし安全推進部 人権文化推進課 平成28年3月



京都市  
CITY OF KYOTO



#### ■京都市全域図



### 1 高麗美術館

#### 人権まなびの地

京都をこよなく愛した在日朝鮮人の鄭昭文氏が収集した朝鮮の美術工芸品や民具などが展示されています。美術館の門を入ると、朝鮮文化を象徴する石人や石塔が立ち並び、京都の中の朝鮮文化に触れることができます。

要入館料。  
TEL 075-491-1192  
FAX 075-495-3718  
●市バス「4」「9」「46」ほか  
「加茂川中学校前」徒歩1分



### 5 尹東柱詩碑

#### 歴史の教訓をいまに伝える地

韓国から来日し、同志社大学で学んでいた尹東柱は、当時、使用を禁じられていたハングルを用いて詩を書いたことで逮捕、投獄され、昭和20(1945)年に福岡の刑務所で亡くなりました。この碑は同志社大学で学んだ韓国・朝鮮人卒業生により、平成7(1995)年に建立されたものです。

- 地下鉄「今出川」駅徒歩1分
- 市バス「59」「201」「203」ほか
- 市バス「117」徒歩1分
- (同志社大学今出川キャンパス内)



### 9 葛野大堰

#### 国際交流にゆかりのある地

5世紀後半に朝鮮半島から渡来した薬氏は、治水灌漑・農地開発の土木技術に長け、今の渡月橋辺りに、川の流れをせき止めて貯水し、流れ別の水路を設ける堰を造りました。これにより、洪水を防ぐと同時に農業用水が確保され、周辺一帯の開拓につながりました。

- 嵐電「嵐山」駅徒歩4分
- 阪急「嵐山」駅徒歩7分
- 市バス「11」「28」「93」ほか
- 「嵐山」徒歩4分



### 2 ツラッティ千本

#### 人権まなびの地

地域の歴史や住民参加のまちづくりなどを通して広く人権について学べる展示施設として、平成6(1994)年に開設しました。「ツラッティ」とは、「連れ合っ」の縮約による京言葉で、「家族と一緒に連れ合っ」て見学に来てください。」という意味がこめられています。

TEL・FAX 075-493-4539

- 市バス「204」「205」「206」ほか
- 「千本北大路」すぐ

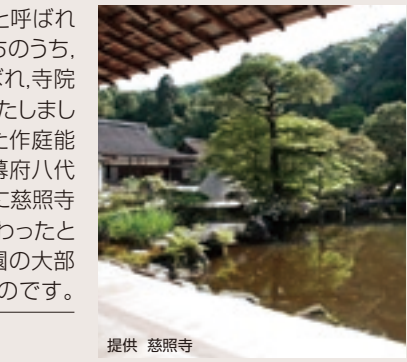


### 6 慈照寺(銀閣寺)の庭園〈世界遺産〉

#### 被差別民衆の活躍にゆかりのある地

中世から近世にかけて河原者と呼ばれて強い差別を受けてきた人たちのうち、庭作りに携わる人は庭者と呼ばれ、寺院等の作庭で中心的な役割を果たしました。中でも善阿弥は、特に優れた作庭能力を有していたことから、室町幕府八代将軍の足利義政に重用され、後に慈照寺となる東山殿の作庭に深く関わったと考えられています。なお、現庭園の大部分は江戸時代に改修されたものです。

- 市バス「17」「203」「204」ほか
- 「銀閣寺」徒歩8分

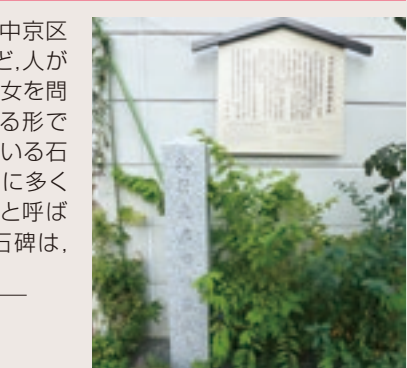


### 10 石田梅岩講舎跡

#### 社会的弱者の人権にゆかりのある地

享保14(1729)年に現在の中区の民家で、正直・倹約・勤勉など、人が人として生きる道について、男女を問わず、誰でも無料で聴講できる形で講義を始めたことで知られている石田梅岩の教えは、商人を中心に多くの人々の心を捉え、石門心学と呼ばれるようになりました。この石碑は、講舎の跡地を示すものです。

- 地下鉄「烏丸御池」駅徒歩1分
- 市バス「15」「51」「65」
- 「烏丸御池」徒歩1分



### 3 京都ライトハウス創立の地

#### 社会的弱者の人権にゆかりのある地

戦後、盲教育が振興する中、「京都に盲学生のための図書館を」という切実な願いから寄せられた募金や、盲学校教員で自らも目に障害があった鳥居篤治郎の私有地提供により、図書館事業だけでなく、視覚障害者の福祉と文化教養の総合施設として創立されました。この地には、鳥居篤治郎の銘板が残されています。

- 市バス「6」「46」「59」「206」
- 「ライトハウス前」徒歩3分



### 7 女紅場跡

#### 社会的弱者の人権にゆかりのある地

女紅の「紅」とは、機織や裁縫など、当時の女性が生計を立てるための技術のことであり、それらを教える場として、明治5(1872)年、我が国の女子教育の先駆けとなる教育施設が、この地に開設されました。

- 市バス「202」「204」「205」ほか
- 「河原町丸太町」すぐ
- 京阪「神宮丸太町」駅 徒歩1分

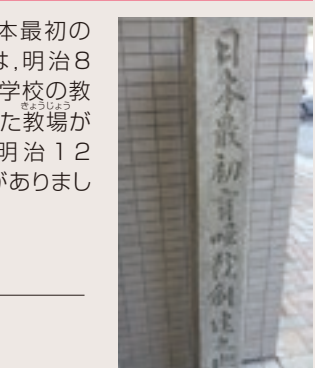


### 11 盲啞院跡

#### 社会的弱者の人権にゆかりのある地

明治11(1878)年に開設された日本最初の盲・聾学校である「京都府盲啞院」は、明治8(1875)年頃に、現在の山科区内の小学校の教師であった古河太四郎が校内に設置した教場が発展したものです。この地には、明治12(1879)年に竣工した移転後の校舎がありました。

- 市バス「10」「93」「202」「204」
- 「府庁前」すぐ
- 地下鉄「丸太町」駅 徒歩10分



### 4 慈照院

#### 国際交流にゆかりのある地

江戸時代の日朝交流において、京都五山の僧侶は、来日中の朝鮮通信使に随行する役割を果たし、文化交流を営み多岐にわたりました。慈照院にはこれらの交流から生まれた往復書簡や詩文等の資料が残されており、寺院の前に駒札があります。通常は非公開で参拝できませんが、5名以上の団体については、事前に電話で申し込み、資料の閲覧が可能です。要参拝料。

- 地下鉄「鞍馬口」駅 徒歩5分



### 8 全国水平社創立の地

#### 被差別民衆の活躍にゆかりのある地

大正11(1922)年3月、当時の京都市岡崎公会堂に差別の撤廃を求める被差別部落の人々が集まり「全国水平社」の創立大会が開催されました。大会では、「人間を尊敬する事によって自ら解放せんとす」や「人間に光あれ」とする、日本人権宣言とも言われる全国水平社創立宣言が確認されました。この石碑は、創立大会の開催地を示すものです。

- 地下鉄「東山」駅 徒歩11分
- 市バス「32」「46」
- 「岡崎公園・ロムシアター京都」駅から徒歩2分(ロムシアター京都内)



### 12 山本覚馬の墓

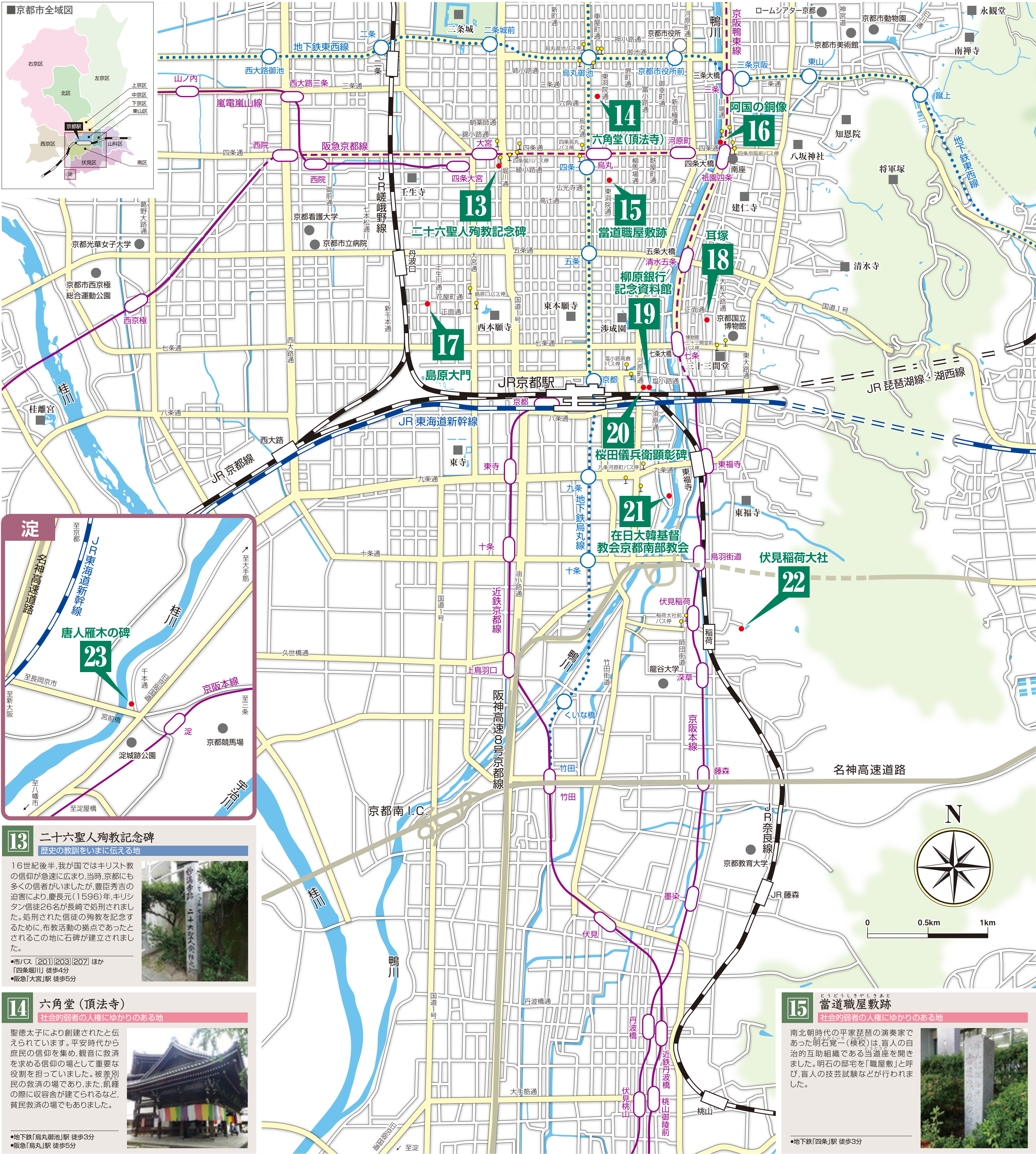
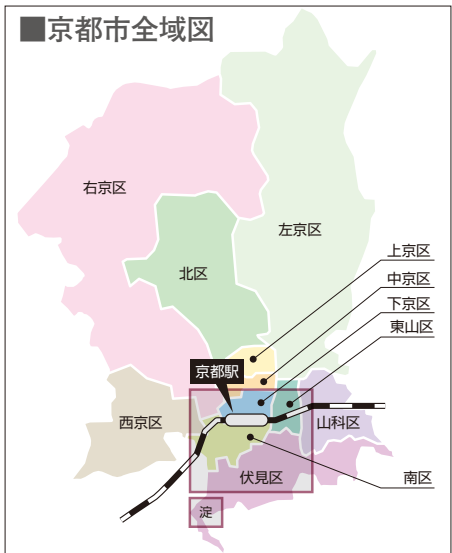
#### 社会的弱者の人権にゆかりのある地

山本覚馬は、幕末の動乱により視力を失い下半身不随となりながらも、京都府の顧問格に就き、日本で最初の小中学校、精神病院、女紅場や盲啞院等の設置に取り組みなど、社会的弱者の権利擁護に尽力しました。

- 若王子神社から山道を徒歩25分
- ※若王子神社へは市バス「5」
- 「南禅寺・永観堂」徒歩5分







### 13 二十六聖人殉教記念碑

歴史の教訓をいまに伝える地

16世紀後半、我が国ではキリスト教の信仰が急速に広まり、当時、京都にも多くの信者がいましたが、豊田秀吉の迫害により、慶長元(1596)年、キリシタン信徒26名が長崎で処刑されました。処刑された信徒の殉教を記念するために、布教活動の拠点であったとされるこの地に石碑が建立されました。

- 市バス [201][203][207] ほか「四條堀川」 徒歩4分
- 阪急「大宮」駅 徒歩5分

### 14 六角堂(頂法寺)

社会的弱者の人権にゆかりのある地

聖徳太子により創建されたと伝えられています。平安時代から庶民の信仰を集め、観音に救済を求める信仰の場として重要な役割を担っていました。被差別民の救済の場であり、また、飢饉の際に収容舎が建てられるなど、貧民救済の場でもありました。

- 地下鉄「烏丸御池」駅 徒歩3分
- 阪急「烏丸」駅 徒歩5分

### 16 阿国の銅像

被差別民衆の活躍にゆかりのある地

当時の底辺層の身分であった出雲の阿国が、慶長8(1603)年に四條河原で演じていた「傾奇」おどりは、大きな人気を呼び、たちまち諸国に広がり、歌舞伎劇として現在に伝えられています。この銅像は、歌舞伎の創始者・発祥地を示すものです。

- 京阪「祇園四条」駅すぐ
- 阪急「河原町」駅 徒歩2分
- 市バス [201][203][207] ほか「四條京阪前」すぐ

### 20 桜田儀兵衛顕彰碑

被差別民衆の活躍にゆかりのある地

現在の下京区にあった柳原町の町長に明治22(1889)年に就任した桜田儀兵衛は、不況により皮革業が打撃を受け困窮した町民のために、私財を投げ打って貧民を救済するとともに、伝染病への感染を防ぐために地域の衛生維持に努めました。

- JR地下鉄「京都」駅 徒歩8分
- 京阪「七条」駅 徒歩10分
- 市バス [4][17][205] ほか「堀小路高倉」 徒歩4分(柳原銀行記念資料館前)

### 17 島原大門

社会的弱者の人権にゆかりのある地

我が国最古の公許遊郭であった島原は、江戸時代初期の設置当時は「西新屋敷」と呼ばれていましたが、その後、九州の島原になぞらえて「島原」と称されるようになりました。この大門は東の出入口に当たり、島原遊郭の象徴のようなものでした。現在の大門は幕末の慶応3(1867)年に建て替えられたもので、京都市登録有形文化財に登録されています。

- JR「丹波口」駅 徒歩7分
- 市バス [206][207] ほか「島原口」 徒歩6分

### 21 在日大韓基督教教会京都南部教会

歴史の教訓をいまに伝える地

現在では、多くの在日韓国・朝鮮人の信仰の場であると同時に、憩いの場、生活・文化のより所となっています。戦時下においては弾圧の対象となり、解散に追い込まれました。戦後、再び伝道所が設置されましたが、礼拝堂が建設されたのは解散から35年後の昭和51(1976)年でした。現在の教会は平成7(1995)年に新築されたものです。

- 市バス [202][207][208] ほか「九条河原町」 徒歩6分

### 18 耳塚

歴史の教訓をいまに伝える地

16世紀末の豊田秀吉の命令による朝鮮侵略では、首の代わりに耳や鼻を差し出して軍功の証としていました。日本に送られた耳や鼻を供養のために埋葬したのが耳塚です。当初は「鼻塚」と呼ばれていましたが、江戸時代になって「耳塚」と呼ばれるようになりました。

- 市バス [206][208] ほか「博物館三十三間堂前」 徒歩5分
- 京阪「七条」駅 徒歩6分

### 22 伏見稲荷大社

国際交流にゆかりのある地

全国の稲荷神社の総本宮であり、千本鳥居で有名です。創建したのは、朝鮮半島から渡来した秦氏であると伝えられています。秦氏は、伏見の地に早くから居住し、大きな勢力を有していたことは、日本書紀にも記載されています。伏見稲荷大社のほかにも、多くの寺社が秦氏の手により建立されたと言われています。

- JR「稲荷」駅すぐ
- 京阪「伏見稲荷」駅 徒歩5分
- 市バス [南5]「稲荷大社前」 徒歩7分

### 15 當道職屋敷跡

社会的弱者の人権にゆかりのある地

南北朝時代の平家琵琶の演奏家であった明石覚一(検校)は、盲人の自治的互助組織である当道座を開きました。明石の邸宅を「職屋敷」と呼び、盲人の技芸試験などが行われました。

- 地下鉄「四條」駅 徒歩3分

### 19 柳原銀行記念資料館

人権まなびの地

明治32(1899)年に設立された「柳原銀行」は、被差別部落の住民によって設立された日本で唯一の銀行でした。その柳原銀行の建物を移築・復元し、平成9(1997)年に人権資料展示施設として開設しました。京都市登録有形文化財にも登録されている貴重な洋風木造建築物です。入館無料。TEL・FAX 075-371-0295

- JR地下鉄「京都」駅 徒歩8分
- 京阪「七条」駅 徒歩10分
- 市バス [4][17][205] ほか「堀小路高倉」 徒歩4分

### 23 唐人雁木の碑

国際交流にゆかりのある地

「唐人」とは、江戸時代、將軍の代替わりや慶事に際して、朝鮮国王から祝賀のために派遣された朝鮮通信使のことを言います。唐人は、対馬から瀬戸内海を経て淀川を遡り、淀城下に着岸後、陸路で江戸に向かいました。「雁木」とは「棧橋」のことです。現在、着岸地(唐人雁木)跡を示す石碑が建立されています。

- 京阪「淀」駅 徒歩5分